

【ユーザーレポート：石田医院様】

〒399-8205長野県安曇野市豊科4677

オゾン水内視鏡洗浄消毒機OED-1000S Plus



※石田医院様ホームページはこちら

石田医院様は石田公孝院長が2015年に第2代目院長へ就任され、地域に密着したかかりつけ医として、幅広い診療に対応されております。年間約150件の内視鏡検査を実施されると同時に、院長ご自身は他の病院でも内視鏡検査を実施されています。院長とスタッフの皆様はOED-1000S Plusの導入経緯や、ご使用感を伺いました。

—導入までの経緯を教えてください。—

OED-1000S Plusを導入するまで、当院においても勤務先でも高水準消毒薬を使用していました。一方で高水準消毒薬のコストが非常に高いとも感じていました。ランニングコストの低い消毒薬を探している際に販売店よりオゾン水を紹介してもらいました。高水準消毒薬に慣れていたので「オゾン水って大丈夫なものなの？」と率直に思いましたが、新鋭工業の担当の方に直接オゾンに関して説明していただき、また最新のガイドラインにもオゾン水が明記されていることを知り心配がなくなりました。

—導入してみていかがでしょうか？—

消毒薬の使用期限を気にしなくてよくなったのが良かったです。以前は消毒薬の使用期限とコストを考慮して、内視鏡検査を短期間に固めるのに苦労しました。OED-1000S Plusなら運転時に毎回新しいオゾン水を作るので検査ペースを気にしなくてよくなりました。またサイズがコンパクトで、当院の設計にピッタリと感じています。運転中の消毒槽のブルーライトも見えて心地いいと思います。

—OED-1000S Plusをどのようにご使用されているかスタッフの皆様は伺いました。—

内視鏡検査が1週間に1、2回で多い日も1日4件です。検査間の時間があるので、しっかり乾燥促進ができる、「消毒+アルコールモード」で毎回運転しています。OED-1000S Plusの内視鏡の巻き方については、すぐに慣れました。縦巻きだと内視鏡を順々に巻いていけるので、とても巻きやすいと感じています。現在、ベッドサイドでリークチェックをしていますが、リークの自動検知機能があったらいいなと思います。



石田公孝院長(右下)とスタッフの皆様。

オゾン水内視鏡
洗浄消毒機
OED-1000S
Plus
(2021年設置)

内視鏡の前洗浄向けの広いシンクが設置されている。シンクでの前洗浄後、OEDでの洗浄消毒を実施している。

お問い合わせ先：株式会社IHI物流産業システム

